

第5学年「外国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ 外国語（英語）によるコミュニケーション力の必要性を感じている。
○ ゲーム性のある外国語活動には、意欲的に楽しむことができる。
- 課題** ▼ 積極的に声を出して外国語を発音したり会話したりすることに消極的である。
▼ アルファベットを書くことに苦手意識が強い。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 聞く、話す、書くコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識と技能。
- ◇ 積極的に声を出し、自分なりの表現で伝えようとする力。
- ◇ 他者と楽しみながらコミュニケーションする力。

具体的な改善策

- ALTと協力し、単語を繰り返し発音したり、補助的に訳したりして英語の理解を図りながら、英語の発音や会話表現に触れる機会を増やす。
- 歌やチャンツ・ゲームなど、児童が気軽に楽しめる活動を多く取り入れ、英語を楽しむ雰囲気作りをする。
- 担任も児童と一緒にあって、ジェスチャーを取り入れながら、積極的にコミュニケーションを図っていく。

達成目標

- 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、聞く、読む、話す、書くコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。